



学校だより

令和8年度 4月号
令和8年 4月8日
さいたま市立大谷口中学校

〔学校教育目標〕 かしこく 美しく たくましく

自己肯定感を育み、笑顔あふれる一年に

校長 高村 昌利

春のやわらかな陽ざしが降りそそぎ、心も弾む季節となりました。本日、保護者の皆さま並びに地域の皆さまの温かいお力添えを賜り、第1学期始業式および第52回入学式を無事に挙行することができました。心より感謝申し上げます。

今年度は、初々しい262名の新入生を迎え、進級した2・3年生とともに、全校生徒778名、そして教職員一同がそろい、新たな教育活動の第一歩を踏み出すことができました。新たな出会いと希望に満ちたこの日を、皆さまとともに迎えられたことに深く感謝いたします。

生徒の皆さんは、新年度が始まり、新しい学年や新しい学級に少なからずの不安を抱くこともあるかもしれませんが、その気持ちは決して自分だけのものではありません。周りの友だちも、同じように期待と不安を胸に抱えながら今日を迎えています。一人ではありません。どうか安心して、一歩を踏み出してください。

新学期のスタートにあたり、生徒の皆さんにメッセージを贈ります。「失敗を恐れるな。明るく、前向きに、プラス思考で。」誰でも失敗はしたくないものですが、失敗こそが成長の糧となります。小さな失敗も、大きな失敗も、それを乗り越えた経験が、皆さんをより強く、より優しく成長させてくれます。保護者の皆さまには、どうか温かく見守り、お子様の挑戦を支えていただきますようお願い申し上げます。

さて、令和8年度さいたま市の教育行政方針には、「教育の使命と我が国の教育をめぐる現状」として、これからの社会を担う子どもたちには、生涯にわたり主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、しなやかに自らの人生を舵取りする力をはぐくむことが求められていると示されています。本校におきましても、この方針を踏まえ、学校教育目標「かしこく 美しく たくましく」の具現化に向けて、学校経営方針を「生徒の自己肯定感を高め、自信を育み、自分や周りの人を大切にする心を育てることを基盤とした学校の創造」と掲げました。生徒一人ひとりが自分らしく輝き、人生の土台をしっかりと築いていけるよう、教育活動のさらなる充実を図ってまいります。

<大谷口中学校 学校教育目標>

かしこく

自ら学び考え、行動する力を育て、生き生きとした人間性を養う。

美しく

思いやりや礼儀など、心の美しさを大切にすることで、豊かな心を養う。

たくましく

運動の楽しさを知り、望ましい生活習慣の確立を図ることで、健やかな心と身体を育てる。

今年度の一年間を、笑顔あふれる学校にしていきたいと考えております。心新たに教職員一同、学校教育目標の達成に向けて力を結集し、全力で教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校の教育の充実と進展のために、一層の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。